

5 外国人人口

－外国人人口 26,502 人、増加率 39.7%－

本市の外国人人口は、26,502 人で前回調査と比べて7,530 人（39.7%）増加し、総人口に占める割合は0.5ポイント上昇し、1.9%となりました。これは全国（1.3%）に比べ0.6ポイント高くなっています。男女別では、男性が11,802 人、女性が14,700 人で女性が男性に比べ2,898 人多く、性比は80.3と本市全体（104.5）を24.2ポイント下回っています。

男女別に人口増加をみると、男性が2,953 人（33.4%）、女性が4,577 人（45.2%）の増加となっています。

外国人人口の推移をみると、平成2年に32.4%、7年に32.3%の増加と大幅な伸びを示し、12年には、5.1%増加と増加幅は縮小しましたが、17年の調査では再び上昇して12.6%の増加となりました。今回の調査ではさらに大きく上昇して39.7%増加しました。

本市の外国人人口を国籍別で多い順にみると、中国が7,591 人と最も多く、次いで韓国・朝鮮7,357 人、フィリピン2,909 人、ブラジル772 人、アメリカ672 人となっています。

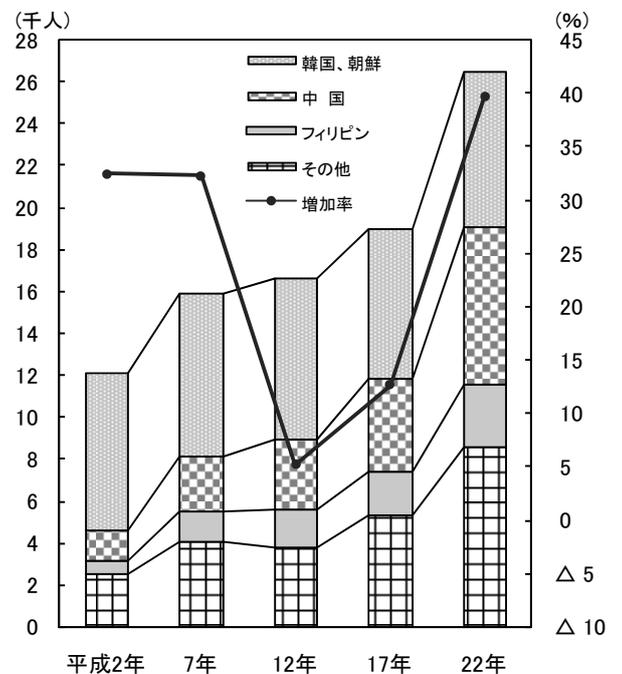
前回調査と比べると、中国が3,136 人（70.4%）と大幅に増加し、前回調査まで最も多かった韓国・朝鮮を追い抜きました。韓国・朝鮮は243 人（3.4%）増、フィリピンは854 人（41.6%）増、アメリカは116 人（20.9%）増、ブラジルは44 人（6.0%）増となりました。上位には入っていないものの、ベトナムは264 人（131.3%）増、インドネシアは50 人（28.2%）増と大幅に増加しました。また、韓国・朝鮮、中国、アメリカ、フィリピン、ブラジル以外のその他も3,137 人（77.2%）増と大きく増加し、多国籍化が進んでいることが分かります。（表23・24・図11）

表 23 外国人人口の推移

年次別 区 別	外国人人口			性 比	外国人 人口の 割合(%)
	総 数	男	女		
平成 2年	12 113	6 351	5 762	110.2	1.0
7年	16 022	8 427	7 595	111.0	1.3
12年	16 847	8 073	8 774	92.0	1.3
17年	18 972	8 849	10 123	87.4	1.4
平成22年	26 502	11 802	14 700	80.3	1.9
川崎区	8 991	3 799	5 192	73.2	4.1
幸 区	3 074	1 341	1 733	77.4	2.0
中原区	3 727	1 713	2 014	85.1	1.6
高津区	3 246	1 461	1 785	81.8	1.5
宮前区	2 375	1 108	1 267	87.5	1.1
多摩区	3 316	1 515	1 801	84.1	1.6
麻生区	1 773	865	908	95.3	1.0

(注)総数には無国籍及び国名不詳を含みます。

図 11 外国人人口の推移



一麻生区、中原区、多摩区で50%を超える増加率一

区別に外国人人口をみると、川崎区が8,991人（全市の外国人人口に対する割合33.9%）で最も多く、次いで中原区3,727人（同14.1%）、多摩区3,316人（同12.5%）、高津区3,246人（同12.2%）、幸区3,074人（同11.6%）、宮前区2,375人（同9.0%）の順となり、麻生区が1,773人（同6.7%）で最も少なくなっています。前回調査と比べると、多摩区が5番目から3番目に浮上し、その他の区では入れ替わりはありませんでした。

前回調査からの増加率をみると、すべての区で増加しており、麻生区が57.7%と最も高く、次いで中原区の54.6%、多摩区の51.1%で、50%を超え大きく増加しました。最も低かったのは宮前区の28.2%でした。

国籍別では中国が全ての区で増加しており、なかでも川崎区が102.7%増、中原区が77.3%増、高津区が74.5%増と大幅に増加しました。フィリピンも全ての区で増加し、川崎区で71.4%と最も大きく増加しました。韓国・朝鮮は川崎区で6.5%減、アメリカは川崎区で8.9%減となりました。（表24）

表24 国籍別外国人人口

年次別区	総数	韓国・朝鮮	中国	アメリカ	フィリピン	ブラジル	その他
平成2年	12 113	7 705	1 399	432	621	-	1 956
7年	16 022	7 806	2 620	483	1 474	1 177	2 388
12年	16 847	7 724	3 270	471	1 811	794	2 586
17年	18 972	7 114	4 455	556	2 055	728	4 064
平成22年	26 502	7 357	7 591	672	2 909	772	7 201
川崎区	8 991	3 441	2 295	41	1 001	478	2 213
幸区	3 074	834	967	76	335	45	862
中原区	3 727	824	1 131	133	399	54	1 240
高津区	3 246	715	944	111	437	77	1 039
宮前区	2 375	550	600	99	278	49	848
多摩区	3 316	645	1 046	97	345	38	1 183
麻生区	1 773	348	608	115	114	31	588
区 の 割 合 (%)							
全市	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
川崎区	33.9	46.8	30.2	6.1	34.4	61.9	30.7
幸区	11.6	11.3	12.7	11.3	11.5	5.8	12.0
中原区	14.1	11.2	14.9	19.8	13.7	7.0	17.2
高津区	12.2	9.7	12.4	16.5	15.0	10.0	14.4
宮前区	9.0	7.5	7.9	14.7	9.6	6.3	11.8
多摩区	12.5	8.8	13.8	14.4	11.9	4.9	16.4
麻生区	6.7	4.7	8.0	17.1	3.9	4.0	8.2
区 の 増 加 率 (%)							
全市	39.7	3.4	70.4	20.9	41.6	6.0	77.2
川崎区	31.5	△ 6.5	102.7	△ 8.9	71.4	3.0	137.2
幸区	36.2	4.6	57.2	24.6	23.6	△ 6.3	85.4
中原区	54.6	9.4	77.3	68.4	51.1	0.0	99.0
高津区	41.3	1.0	74.5	7.8	18.4	26.2	101.7
宮前区	28.2	25.6	18.8	0.0	51.9	32.4	43.7
多摩区	51.1	38.4	59.7	11.5	11.7	△ 5.0	85.7
麻生区	57.7	27.5	64.8	40.2	52.0	29.2	95.3

(注) 平成7年・12年は総数に、平成2年・17年・22年はその他に、国籍「不詳」を含みます。

－外国人増加率は20大都市中第1位－

20大都市の外国人人口を比較すると、外国人人口の最も多いのは東京都区部の267,229人、次いで大阪市の96,675人、横浜市の53,029人の順となっており、反対に最も少ないのは新潟市の4,095人となっています。本市は26,502人で7番目に多くなりました。

前回調査からの増加率をみると、最も高いのは本市の39.7%増、次いで東京都区部の34.3%増と大幅に増加し、以下の都市より突出しています。一方で、北九州市が0.1%減、大阪市が3.1%減、神戸市が7.0%減、京都市が8.9%減となり、関西圏での減少が目立ちます。また、全国は5.9%増となっており、本市と東京都区部は全国の増加率を大きく上回っています。

外国人人口の総人口に占める割合をみると、最も高いのは大阪市の3.6%、次いで東京都区部の3.0%、名古屋市と浜松市の2.3%、京都市と神戸市の2.2%、本市は1.9%で7番目となりました。最も低いのは札幌市の0.4%となりました。外国人人口の割合の最も高い大阪と最も低い札幌とでは3.2ポイントの差が生じています。

外国人人口の割合を前回調査と比べると、東京都区部が0.7ポイント、本市が0.5ポイント上昇し、全国の外国人人口の割合が1.3%で前回調査から0.1ポイント上昇したことと比べ大きく上昇しています。(表25)

表 25 20大都市別外国人人口

都 市 別	外国人人口			外国人人口の割合(%)	
	平成17年	平成22年	増加率(%)	平成17年	平成22年
全 国	1 555 505	1 648 037	5.9	1.2	1.3
札 幌 市	6 384	6 871	7.6	0.3	0.4
仙 台 市	6 556	7 360	12.3	0.6	0.7
さいたま市	11 717	12 474	6.5	1.0	1.0
千 葉 市	13 496	14 394	6.7	1.5	1.5
東京都区部	198 949	267 229	34.3	2.3	3.0
川 崎 市	18 972	26 502	39.7	1.4	1.9
横 浜 市	50 722	53 029	4.5	1.4	1.4
相 模 原 市	7 621	7 901	3.7	1.1	1.1
新 潟 市	3 343	4 095	22.5	0.4	0.5
静 岡 市	6 138	6 816	11.0	0.8	1.0
浜 松 市	22 669	18 167	△ 19.9	2.8	2.3
名 古 屋 市	46 889	52 485	11.9	2.1	2.3
京 都 市	35 795	32 620	△ 8.9	2.4	2.2
大 阪 市	99 783	96 675	△ 3.1	3.8	3.6
堺 市	10 401	9 507	△ 8.6	1.3	1.1
神 戸 市	36 598	34 037	△ 7.0	2.4	2.2
岡 山 市	6 465	8 848	36.9	0.9	1.2
広 島 市	11 797	13 346	13.1	1.0	1.1
北 九 州 市	9 768	9 758	△ 0.1	1.0	1.0
福 岡 市	16 449	17 325	5.3	1.2	1.2

(注)平成22年の市域に組み替えた人口です。